施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化振興課	職	課長	氏名	池田 誠
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値	現	犬値	評価
	旭泉ジロ場	火木油水	4	(年度)	(年度)	(年度)	HT.IM
按筆1	施策1 兼六園周辺文化の森活性化の推進 兼六園周辺文化施設入館者数		A	653,000	673,840		
旭米1	ボハ圏向近文化の株佰宝化の推進	ボハ圏	人	(H25)	(H24)	(H25)	
施策2	個性的な文化創造社会の形成	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	A	13,000	12,679		
旭米乙	1回注的な人化制垣化云の形成	云州蝨貝征进尹未守蝨貝有奴	人	(H25)	(H24)	(H25)	
施策3	音楽文化の創造・発信・交流の促進	音楽堂入場者数	Į.	252,000	265,158		
旭東る	日米又化の創垣・光信・文伽のル	日米星八笏日奴	人	(H25)	(H24)	(H25)	
施策4	伝統文化の継承、発展と文化芸術に	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利	A	108,000	108,960		
旭界4	親しむ機会の充実	用者数	人	(H25)	(H24)	(H25)	

		施策の	日標達成に向けて重点的に取り組むべき課	題				課題に対する主な取り組み				評価	
施策		課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現(年度)	状値 (年度)	事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	これまでの有効性	今後の 方向性
	課題	兼六園周辺文化施設の活性化	再兼六園周辺文化施設入館者数	人	653,000 (H25)	673,840 (H24)	(H25)	兼六園周辺文化施設活性化事業費	一般県民	8,400	(114)		
								前田育徳会尊經閣文庫分館魅力発信事 業費	一般県民	639			
施策1								歷史博物館移動展費	一般県民	3,000			ì
			美術館入館者数	人	450,000 (H25)	408,642 (H24)	(H25)	美術館展覧会費(企画展示費)	一般県民	31,528			
			石川四高記念文化交流館入館者数	人	140,000 (H25)	134,003 (H24)	(H25)	石川四高記念文化交流館事業費	一般県民	15,289			
	課題	表現・鑑賞機会の充実	再 芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	人	13,000 (H25)	12,679 (H24)	(H25)	芸術鑑賞推進事業費負担金	小·中学生	4,231			
施策2								再 兼六園周辺文化施設活性化事業費	一般県民	8,400			
NE X Z								いしかわの能楽鑑賞事業費	一般県民	3,500			İ
			ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭参加 団体数	団体	45 (H25)	44 (H23)	45 (H24)	ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	54,000			
	課題1	音楽文化の創造・発信	再 音楽堂入場者数	人	252,000 (H25)	265,158 (H24)	(H25)	音楽堂自主事業費補助金	一般県民	15,847			
								地域文化振興推進事業費補助金	一般県民	10,700			l
施策3								再 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	54,000			l
			ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭来場者 数	人	100,000 (H25)	104,771 (H24)	(H25)	ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費	一般県民	43,000			
	課題2	音楽文化を担う人材の育成	いしかわミュージックアカデミー参加者数	人	4,000 (H25)	4,984 (H24)	(H25)	いしかわミュージックアカデミー開催事業 費	国内外石士 音楽家、一 般県民	14,420			
	課題	伝統文化の継承と発展	再 音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利 用者数	人	108,000 (H25)	108,960 (H24)	(H25)	伝統芸能技能向上支援事業費	一般県民	3,000			l
								再 いしかわの能楽鑑賞事業費	一般県民	3,500			
施策4								再 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	54,000			<u> </u>
旭水士								再 兼六園周辺文化施設活性化事業費	一般県民	8,400			
								再 ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費	一般県民	43,000			
								再 芸術鑑賞推進事業費負担金	小・中学生	4,231			

事務事業名 兼六園周辺文化施設活性化事業費

事業開始年度: H17 事業終了予定年度: 根拠法令 ・計画等

作 組 織:文化振興課 成 職・氏名:専門員 今村 友紀枝 者 電話番号: 076 - 225 - 1371 内線 3853

事業の背景・目的

兼六園周辺文化の森の賑わいを創出するため、各文化施設、関係機関等との連携により、活性化推進 事業を実施する。

事業の概要

- 1 兼六園周辺文化の森ミュージアムウィークの開催 各文化施設が連携し文化芸術イベントや協賛行事を開催 (各文化施設、本多の森公園)
- 2 文化の森スタンプラリーの開催 県及び金沢市の文化施設を対象
- 3 金沢芸妓の舞の実施

文化施設鑑賞パスポート付き:能楽堂別館

- 4 文化の森マップ、イベントガイドの発行 年2回作成
- 5 いしかわの伝統文化魅力発信事業の実施

兼六園・金沢城公園の四季折々のイベント等と連携した催しを文化施設にて開催 年3回(6月、11月、2月): 能楽堂別館、四高、美術館

以上、交付先:兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会

6 「冬の観能のタベ」の開催(2月、能楽堂) 若手能楽師による能楽公演の実施

交付先:いしかわの能楽鑑賞事業実行委員会

7 石川県・金沢市文化施設共通鑑賞パスポートの期間限定販売

ミュージアムウィーク事業の一環として実施し、各施設の周遊促進を図る。

対象施設:県3施設(美術館、四高記念館、伝統産業工芸館)

市16施設(中村記念美術館、能楽美術館、鈴木大拙館など)

販売価格:500円 有効期間:2日間

販売期間:10月(1ヶ月間)

		施策・課題の状況
放	恒 策	兼六園周辺文化の森活性化の推進 評価
諺	果題	兼六園周辺文化施設の活性化
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数 単位 人
	目標値	現状値
	平成25年度	平成21年度:平成22年度:平成23年度:平成24年度:平成25年度
	653,000	757,255 671,194 642,716 673,840

		事業	費		
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 予算	7,800				8,400
(大)	7,800				
一般 予算	7,800				8,400
財源 決算	7,800				
事業費累計	42,600			64,932	73,332
7# H	· - 11 /π·	評価		\TH +	
項目	評価	٤	こ記の評価の	ノ理田	
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか)					
今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)					

 事務事業名
 前田育徳会尊經閣文庫分館魅力発信事業
 事業開始年度
 H21
 事業終了予定年度

 ・計画等
 ・計画等

作 組 織 県立美術館 成 職・氏名 主幹 七野啓一 者 電話番号 076 - 231 - 7580 内線 6510

事業の背景・目的

美術館リニューアルオープンに併せ「尊經閣文庫分館」が開設されたことを受け、前田育徳会尊經閣文庫の所蔵品のすばらしさを県民に紹介するためのPR事業を積極的に展開し、「尊經閣文庫分館」の周知と観覧者増を図る。

事業の概要

1 文化講座の開催

前田育徳会尊經閣文庫の所蔵品収集に力を注いだ加賀藩歴代藩主の姿を、前田家に関わる人及び他の大名家との比較を通して、深めていく連続講座として開催する。

開催回数 年3回

講座概要(案) 第1回 前田家の歴史 講師 元金沢市史専門委員 長山 直治氏

第2回 尊經閣文庫 講師 公益財団法人前田育徳会理事 菊池 紳一氏

第3回 江戸時代の藩主の生活 講師 北陸大学教授 長谷川 孝徳氏

講 師 歴史家、郷土史家等の著名人(予定)

会 場 石川県立美術館ホール

対象者 一般

定 員 各回200人

特 典 講座参加者は、講座当日のコレクション展観覧料は無料

2 尊經閣文庫のパンフレット作成

前田育徳会尊經閣文庫の文化財等所蔵品のすばらしさを県民に紹介するため、PR用パンフレットを作成する。

			者	電話番号	076	<u></u> -	231	_	7580	内線	6510
				+1-75	田田石のい	LIX3H					
+/- /s/c		*-	三田 (田) 田・	施策・調			f e		⊒π /π°		
施策			園周辺	文化の森温		の推進	E.		評価		
課題	le Tari	711.	園周辺:	文化施設0		1L w.			評価		
	旨標	兼六	園周辺	文化施設力	\ 館者				単位		人
	標値			**************************************		現状们		K.o			
	25年度	半成	21年度	平成22年	· 度 平	. 灰23年	上	半成2	4年度	半成	25年度
(553,000	7	57,255	671,19	94	642,7	/16	67	3,840	<u> </u>	
					業費						
(単位:		平成		平成22年		·成23 ^左	F 度	平成2	4年度	平成	25年度
事業費	予算 決算		2,500 2,244	1,5	000 006	1,	,000		800)	639
尹未貝	決算		2,244	1,0	006		950		749)	
一般	予算 決算		2,500	1.5	500						639
財源	決算		2,500 2,244	1.0	006		,000 950		800 749)	
事業費	事用計		2,500	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	000		,000		5,800		6,439
尹 木 5	4 777 PI	<u>. </u>	2,000		平価	υ,	000		5,000	<u>'</u>	0,100
項	Ħ	評価	1	р		己の評	AHI T	抽田			
久	<u></u>	рТ ІЩ			/上 月	しくフロナ	' Щ∨∠	生田			
事業の	有効性										
(費用対	対果の										
観点も											
の事業											
解決に征											
カーレいこと											
73	•)										
		.									
今後の	方向性										
(県民ニ	ニーズ、										
四マ た い .	10 00 6										

緊急性、県関与 のあり方等を踏 まえ、今後どの ように取り組む のか)

事業の背景・目的

平成25年度はリニューアル工事閉館のため、毎年開催している「特別展」に代わり、「移動展」を実施する。

- (1) リニューアル休館にあたり、県民サービス機関・教育機関・観光施設としての博物館の機能低下を補う。
- (2) 普段、地理的な事情から触れる機会の少ない加賀・能登地区で、名品・優品を紹介し、歴史博物館への関心を促したい。
- (3) リニューアルに向けた情報を分かりやすく提示し、広報宣伝にも努める。

事業の概要

- (1)場所と期間
- ①加賀:小松市立博物館 平成25年7月20日(土)~8月25日(日)
- ② 能登: 石川県七尾美術館 平成25年9月21日(土)~10月27日(日)
- ③ 金沢: 石川四高記念文化交流館 平成25年11月30日(土)~12月23日(祝·月)
- (2)展示内容
- ①タイトル:「大名行列がやってきた! -優品にみる加賀藩-」

近世資料の名品・優品を中心に、各地区に関連した地域色のある資料を展示する。

②主な展示品:

「加賀(かが)藩(はん)大名(だいみょう)行列(ぎょうれつ)図(ず)屏風(びょうぶ)」(昭和初期 1940年頃) 「白糸(しろいと)威(おどし)二枚(にまい)胴(どう)具足(ぐそく)」 (江戸時代 17~18世紀)

「加州(かしゅう)金平(かなひら)鉱山図(こうざんず)」(県指定有形文化財)(江戸時代 1788年)など約40点

※四高記念館の場合は、「モダン金沢と民衆文化」をタイトルに、大正昭和初期の演劇・映画関係のポスター、チラシ、台本、ブロマイドなどを展示予定。

- (3) 関連企画
 - ①特別講演会 加賀・能登の2回を対象に、加賀藩の歴史と文化について、講演会を実施する。

②ギャラリートーク 当館学芸員が出張して、展示解説を行う。

③ワークショップ 甲冑・お姫様衣装の試着体験、からくり人形の実演等を行う。(加賀・能登)

④リニューアルの広報活動 広報パネルやCG映像等でPR活動を実施する。

これまでの見直し状況

毎年新たなテーマを企画設定して事業を実施

		施策・課題の状況	
方	 色策	兼六園周辺文化の森活性化の推進	評価
計	果題	兼六園周辺文化施設の活性化	
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数	単位 人
	目標値	現状値	
	平成25年度	平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成	24年度 平成25年度
	653,000	757,255 671,194 642,716 6	673,840

	事業費								
(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事業費	予算	18,465	14,393	5,568	6,057	3,000			
尹未其	決算	16,432	16,353	5,011	6,054				
一般	予算	3,256	7,316	1,569	2,527	3,000			
財源	決算	1,191	11,278	1,356	2,524				
事業費	學累計	167,889	184,242	189,253	195,307	198,307			
	₹ 7 / π *								

	項目	評価	左記の評価の理由
	事業の有効性		
0	(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)		

今後の方向性

(県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組まのか)

事務事業名 美術館展覧会費(企画展示費)

 事業開始年度
 S58
 事業終了予定年度

 根拠法令
 ・計画等

 作
 組
 織
 美術館

 成
 職・氏名
 主幹
 七野
 啓一

 者
 電話番号
 076
 231
 7580
 内線
 6510

事業の背景・目的

美術に対する理解を深めるため、特定のテーマにもとづく内外の作品による企画展を開催し、優れた美術鑑賞の場を提供する。

事業の概要

- 1 「国宝 薬師寺展」
- ①会期 平成25年4月26日~6月23日 59日間
- ②展示内容

薬師寺東塔大修理・復興及び白鳳伽藍再建10周年記念、北國新聞社創刊120周年記念及び石川県立美術館開館30周年記念として開催する。薬師寺は平成10年にユネスコ世界遺産に登録された「古都奈良の文化財」の主要寺院であり、日本を代表する古寺に伝わる貴重な文化財を一堂に展示する。主な展示作品は国宝「聖観世音菩薩立像」、国宝「吉祥天女像」、国宝「慈恩大師像」など国宝6件を含む薬師寺の至宝44件を展示する。石川県立美術館、北國新聞社、薬師寺の3者による実行委員会方式による展覧会開催は初めての試みとなる。

- 2 「俵屋宗達と琳派展」
- ①会期 平成25年9月14日~10月14日 31日間
- ②展示内容

俵屋宗達の後継者俵屋宗雪が加賀藩の御用を務めたことから、本県には宗達の流れを汲む宗雪や喜多川相説及びその工房の作品が数多く伝来し、大正3年には「金沢宗達会」が設立されるなど当地の文化・美意識に大きな影響を与えている。当美術館が平成25年に開館30周年を迎えるにあたり、石川県、金沢という視点から宗達・宗雪・尾形光琳などの名作を展示、日本美の精華と言われる琳派芸術の神髄を再認識する展覧会である。主な展示作品は俵屋宗達作の国宝「蓮池水禽図」、重文「西行法師行状絵詞」、「舞楽図」、尾形光琳作の重文「風神雷神図」など約60点を展示する。

- 3 「石川県立美術館名作の森展」
- ①会期 平成25年12月21日~平成26年2月11日 47日間
- ②展示内容

本県は、江戸時代から加賀藩前田家の保護育成政策により、文化の華が開き、その伝統が今日まで継続されている。古美術の歴史的名作が伝承し、人間国宝、芸術院会員に認定される作家も多く、美術工芸分野において水準の高い地域として全国に知られている。当館はその伝統的な芸術的個性を活かした地方色豊かな美術館として親しまれ、同時に地域文化の集積を目指して、作品の収集を積極的に行っていることから全国の収集家から優れた作品の寄託を数多く受けている。本展は、開館30周年を迎えるにあたり、当館を代表する秀作群と寄託作品を展示し、新幹線開業を控えてその魅力を全国に発信することを目的に開催する。主な展示作品は野々村仁清作国宝「色絵雉香炉」、重文「色絵雌雉香炉」、重文「色絵梅花図平水指」など約100点を展示する。

		施策・課題の状況 :策 兼六園周辺文化の森活性化の推進 評価 :								
÷	施	策	兼六園周辺文	評価						
1	課	題	兼六園周辺文	評価						
		指標	美術館入館者	数	単位	人				
		目標値			現状値					
		平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
		450,000	427,822	390,711	360,740	408,642				

	事業費							
(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
事業費	予算	30,096	17,076	20,660	20,189	31,528		
于不具	決算	21,423	16,556	14,277	20,189			
一般	予算	10,951	6,276	7,336	8,182	6,144		
財源	決算	$\triangle 7,962$	5,737	9,274	8,035			
事業費累計		77,197	93,753	108,030	128,219	159,747		

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
(費用対効果		
の観点も含		
め、この事業が		
課題解決に役		
立ったか)		
,		

今後の方向性

(県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)

事業の背景・目的

石川四高記念文化交流館は、四高の歴史と伝統を伝える展示に加え、旧四高の教室を多目的に利用できる「石川四高記念館」と石川県ゆかりの文学者の資料を展示する「石川近代文学館」によって構成され、兼六園周辺文化の森の新しい「学びとふれあいの複合文化スペース」として平成20年4月に開館した。 これらの施設を多くの方々に利用していただくため、企画展示やイベント等を実施する。

事業の概要

- 1 石川四高記念館
 - •施設の概要

四高と四高生を育んだ風土と時代を知るための展示 旧四高教室を学習や発表の場として利用できる多目的利用室(有料)の設置

主な事業

常設展示(4室)

企画展の実施

レトロ展映画ポスター (4月~3月)

小中学校絵画展

三文豪館とのスタンプラリー

講座の開催(フレッシュ新三々塾 年8回) など

- 2 石川近代文学館
 - ・施設の概要

石川県ゆかりの文学者の著書・原稿・愛蔵品等を一堂に集めた総合文学館 (財団法人石川近代文学館へ事業を委託)

主な事業

常設展示(8室)

企画展の実施

「はじまりのものがたりー絵本の世界ー」

 $(4/13\sim8/18)$

絵本原画等を一同に並べる「目に楽しい」企画展とし、幅広い年齢層が楽しめる展示とする。

「生誕110年を超えて中野重治と出会う」

 $(9/14\sim11/24)$

福井県生まれで、四高出身の中野重治の原稿を中心に展示する

「西のぼる原画展 – 初出 小説が生まれるところ – $(1/18 \sim 3/23)$

ほとんどの小説は、新聞や雑誌に掲載されて発表される。これを「初出」と呼ぶ。今回は、この「初出」を小説の生まれたところと位置づけ、「初出」には、かかせない挿絵を西のぼる氏の原画 ワークショップ、イベント(朗読会、文学講座、研究会など)の実施

				1/ • MH 300 07	- 115 50		
				施策•課題	の状況		
	施	策	兼六園周辺ス	女化の森活性		評価	
	課	.題	兼六園周辺ス	文化施設の活	性化		
•		指標	石川四高記念	含文化交流館	入館者数	単位	人
		目標値			現状値		
		平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		140,000	130,386	134,596	132,380	134,003	

		1	-11-		
		事業	費		
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度		平成24年度	平成25年度
事業費 予算	15,742	15,476	15,322	15,754	15,289
李 承章 決算	15,571	14,946			
一般 予算	12,694	12,852	12,354	12,354	12,455
財源 決算	13,509				
事業費累計	31,142	46,088	60,728	76,239	91,528
		評価	Ei		
項目	評価		記の評価の)理由	
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)					
今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)					

 事務事業名
 芸術鑑賞推進事業費負担金
 事業開始年度
 S57
 事業終了予定年度
 作 組 織 文化振興課 成 職・氏名 主任主事 佐成 美穂 書話番号 076 - 225 - 1372 内線 3847

事業の背景・目的

子供たちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し芸術文化の振興を図るとともに、舞台芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

事業の概要

県内市町で下記の事業を実施する。

- 1 児童・生徒オーケストラ鑑賞教室 (財)石川県音楽文化振興事業団(OEK)に委託 県内で5公演を実施
- 2 スクールシアター(児童演劇公演) (社)日本児童演劇協会に委託 県内で7公演を実施
- 3 古典芸能鑑賞教室

「越後獅子」班 (杵屋弥三辰社中、田中杉芙勢社中、藤間勘菊社中) 「春の海」班 (釣谷雅楽房社中、前川晴笙中、藤間勘寿々社中) この2班で県内6公演を実施

				油甾万	010		440		1312	PY形形	3041
				施策·課	題の出	- ÀÜ					
	+1-15	: /⊞ \# 44 2	ᄾᆇᄱᄼ						≅ ₩ /π*		
_	施策	個性的な			りが収				評価		
」の		表現·鑑									
	指標	芸術鑑賞	資推進 等	事業等鑑					単位		人
	目標値					表状位	首				
	平成25年度	亚成21组	王座 亚	成99年月				正成2	4年度	亚战	25年度
				リ <u>ス, ムムー</u> ル 19.70		10	ウス 001	T/1/2/2	19 670	T/3	20十1文
	13,000	14,	,976	12,78	5 (١٥,	081		12,679	1	
				事	業費						
	(単位:千円)	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	工 味: 立	子の左に	未具 年: 元日	÷00 <i>E</i>	C EE: 7	ज ⊢ि०	1左座	: 17 (-1)	0.5年度
		平成21年	干及 半	成乙乙午と	足 平加	ζZ3 ⁻	F及 -	十万人2	4年及	半风	25年度
	事業費 予算 決算	5,	,741	成22年月 4,52	21	4,	521		4,231		4,231
	尹素質 決算	5.	.741	4,37	1	4,	521		4,187		
	一般・予算	5	,741 ,741	4,52	21	4	521		4 231	•	4,231
		<u>ي</u> ,	,741	4,37	/1 /1	٦,	521		4,231 4,187	· j	4,201
	財源 決算	5,	, (41	4,37	1	4,	521		4,187	<u>.i</u>	
	事業費累計	271,	,889	276,26		280,	781	28	34,968	2	289,199
				副	<u>「</u> 価						
	項目	評価		副	描 左記(の評	価の	理由			
	項目	評価		割	左記	の評	価の	理由			
	項目	評価		<u></u>		の評	価の	理由			
		評価		割		の評	価の	理由			
	項目事業の有効性	評価		<u></u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性	評価		<u></u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果	評価		<u></u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果	評価		<u></u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含					の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が			<u></u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			副		の評	<u>価の</u>	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が					の評	<u>価の</u>	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			韶		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			<u>िं</u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			<u>ि</u>		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役			企		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役 立ったか)			香		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役 立ったか)			電		<u>の評</u>	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 一一一一一一一一一 (県民ニーズ、			ि E		の 評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役 立ったか)			企		の評	<u>価の</u>	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関			企		の評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事決に役立ったか) 一 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等					の評	<u>価の</u>	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事決に役立ったか) 一一年 の表の方向性 (県民二一、県 等のあり方今後 を踏まえ、今後			電		の ア	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事決に役立ったか) 今後の方向性 (県民生、男与のあら、下、男 を踏まえ、下、取り を踏またがと			FOET		の 評	価の	理由			
	事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事決に役立ったか) 一一年 の表の方向性 (県民二一、県 等のあり方今後 を踏まえ、今後			ि E		の ア	価の	理由			

 事務事業名
 いしかわの能楽鑑賞事業費
 事務事業名
 中計画等
 H3
 事業終了予定年度
 作 組 織 文化振興課 成 職・氏名 主任主事 佐成 美穂 者電話番号 076 - 225 - 1372 内線 3847

事業の背景・目的

定期的に能楽を上演、鑑賞する機会を設けることにより、能楽愛好者の増加と能楽楽師の技術向上の契機とし、もって本県の文化振興を図る。

事業の概要

内 容 「観能の夕べ」上演 能と狂言を各1番 日 時 平成25年7月6日~8月31日 毎週土曜日

午後6時30分~午後8時30分

全9回(特別公演1回、一般公演8回)

会 場 石川県立能楽堂

主 催 いしかわの能楽鑑賞事業実行委員会

対象 一般

入場料 特別公演 3,000円/回

一般公演 1,000円/回

		梅等.	課題の状況	_		
			迷庭り(人)	/ L		
五 策	伝統文化、	伝統工芸など	`文化資産∅	つ継承と発	展 評価	
展	伝統文化(の継承と発展	1			
指標	音楽堂邦楽	がホール入場	者数•能楽	堂利用者	数 単位	人
目標値	H 214		現場	大値	×	
平成25年度	亚成21年	産 平成22年	達 平成2	3年度 平	成24年度	平成25年度
108.000	101 824	116.5	71 10	9 617	108 960	1 120 1 2
100,000	101,021	110,0	11 10	۷,011	100,000	
						Ī
						Ī
						Ī
						Ī
						Ī
			- SII2 =H4			
(単位:千円)					成24年度	
子典 予算	4,20	30 4,2	200	4,200	3,500	3,500
^{+耒貞} 決算	4,20	00 4,2	200	1,051	3,500	
一般 予算	4,20	00 4,2	200	4.200	3,500	3,500
財源 決算	4,20	$\frac{100}{4.2}$	200	1.051	3.500	
		00 <u>-</u> 00 60.3	300 (31 351	64.851	68,351
于木具水町	00,1)1,001	01,001	00,002
項目	運動			が無の形	# 	
(5)口	6十1四		△ □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	百十一川 マント	EШ	
事業の有効性						
費用対効果						Ī
						Ī
果題解決に役	1 1					Ī
	-					
米 理解状に依 立ったか)						
立ったか)						
立ったか)						
立ったか) 一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
立ったか) ・ ・ ・ 後の方向性 県民ニーズ、 緊急性、県関						
立ったか) ・後の方向性 県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等						
立ったか) 一会の方向性 県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 ・踏まえ、今後						
立ったか) ・後の方向性 県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等						
立ったか) 一会の方向性 県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 ・踏まえ、今後						
	題 指標 目標値 平成25年度 108,000 単位:千円) 「業費・決算 ・決算 対源、要累計 項目 野観点事業が の、この事業が	題 伝統文化の 指標 音楽堂邦楽 目標値 平成25年度 平成21年) 108,000 101,824 第	題 伝統文化の継承と発展 指標 音楽堂邦楽ホール入場 目標値 平成25年度 平成21年度 平成22年 108,000 101,824 116,5 単位:千円) 平成21年度 平成22年 千業費 予算 4,200 4,2 一般 予算 4,200 4,2 財源 決算 4,200 4,2 事業費累計 56,100 60,3 項目 評価 事業の有効性 費用対効果 の観点も含 か、この事業が	題 伝統文化の継承と発展 指標 音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽 目標値 現状 平成25年度 平成21年度 平成22年度 平成2 108,000 101,824 116,571 102 単位:千円) 平成21年度 平成22年度 平成2	据標 音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者が 目標値 現状値 現状値 現状値 平成25年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成25年度 平成23年度 平成25年度 平成23年度 平成25年度 平成23年度 平成25年度 平	据標 音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数 単位 目標値 現状値 現状値 平成25年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 108,000 101,824 116,571 102,617 108,960 108,000 101,824 116,571 102,617 108,960 108,960 109,000 4,200 3,500 1,051 3,500 1,

事務事業名 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費 事業開始年度: H10 事業終了予定年度: 根拠法令・計画等

 作
 組
 織!文化振興課成

 成
 職・氏名!主事
 東谷 友里恵

 者電話番号:
 076 - 225 - 1372 内線 3848

事業の背景・目的

県民の文化理解の向上を促進するとともに、本県の質の高い文化を県の内外に発信する。これにより、県民が郷土に誇りを持ち、文化活動を通じ、活力ある地域づくりに自発的、積極的に参画する機運を醸成する。

事業の概要

- 1 実施主体 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、 (財)石川県芸術文化協会
- 2 実施時期 平成25年9月29日(日)~11月24日(日)
- 3 会 場 県下一円(公共ホール等)
- 4 事業内容
 - (1)芸術祭の中心となる音楽公演
 - (2)本県ゆかりの芸能等公演
 - (3)芸術文化団体による公演
 - (4)協賛事業(芸術祭の趣旨に賛同する会期中の市町村、公共ホール自主事業・ ただし財政的な支援はなし)
- 5 参加団体数 45団体
- 6 事業費 負担金54,000千円 (交付先:ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会)

				施策·課題	夏の状	:況			
施策		伝統	文化、伝統	売工芸など文 イ	匕資産	の継承と	発展	評価	
課題		伝統	文化、伝	統工芸など	文化賞	資産の継ば	承と発	善展	_
	指標	ビエン	ノナーレ	いしかわ秋の	芸術タ	* * > * * * *	体数	単位	団体
	目標値				現	状値			
平	成25年度	平成	21年度	平成22年度	平成	23年度	平成	24年度	平成25年度
	45		43			44			
				事業					
(単位		平成	21年度	平成22年度	平成	23年度	平成:	24年度	平成25年度
事業	典 予算		54,000	2,300		54,000		2,300	54,000
	()		54,000	2,300	? :	54,000		2,300 2,300	
一般	予算		54,000	2,300	:	54,000		2,300	54,000
財源	決算		54,000	2,300	<u> </u>	54,000		2,300	
事業	養累計		286,100	340,100		342,400	3	96,400	398,700
				評化	Щ				
	項目	評価		7	生記の	の評価の)理由	1	
重業	の有効性								
于未	v / H ////工								
(弗)	用対効果								
	別がある。								
	の事業が								
	解決に役								
$\overline{\Sigma}$	ったか)								
今後	の方向性								
(県目	民ニーズ、								

緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)

 事務事業名
 音楽堂自主事業費補助金
 事業開始年度
 H14
 事業終了予定年度
 作 組 織 文化振興課 成 職・氏名 主事 競荘介

 ・計画等
 ・計画等
 古電話番号
 076
 - 225
 - 1372
 内線 3850

事業の背景・目的

藩政時代から培われてきた邦楽文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢に代表される洋楽文化の発信拠点としての音楽堂において、魅力ある多彩な自主事業を実施し、石川の音楽文化の振興を図る。

事業の概要

- 1 音楽堂自主事業基本コンセプト
 - A 優れた演奏家の招聘
 - B 若手・地元芸術家の支援
 - C 音楽ファンの拡大
- 2 事業内容
- (1)コンサートホール(12事業)
 - ・シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭合唱団
 - ソフィアゾリスデン公演
 - ・クラシック・フォー・キッズ
 - ・ランチタイムコンサート 他
- (2) 邦楽ホール(10事業)
 - ・日本芸能の源流「祭」
 - 雅楽
 - ・干支の芸能
 - •文楽公演 他
- (3)交流ホール(3事業)
 - 午後の音楽散歩
 - 室内楽コンサート
 - ・音楽堂アワー 他

計 25事業

			施策・課題の			
L	施策		造・発信・交流	の促進	評価	
	課題	音楽文化の創				
	指標	音楽堂入場者	- 数		単位	人
	目標値		,	現状値		
	平成25年度	平成21年度	平成22年度 平	Z成23年度 3	平成24年度	平成25年度
	252,000	235,219	272,940	238,540	265,158	
			事業費			
	(単位:千円)		平成22年度 平			
	事業費 予算 決算	30,700	25,420	21,196	17,817	15,847
	 李 孝 決算	30,700	25,420	21,196	17,817	
	一般 予算	15,700	10,420	21,196	17,817	15,847
	財源 決算	15,700 15,700	10,420 10,420	21,196 21,196	17,817 17,817	
	事業費累計	504,600	530,020	551,216	569,033	584,880
			評価			
	項目	評価	左	記の評価の	理由	
	事業の有効性					
	争未り行列は					
	(費用対効果					
	の観点も含					
	め、この事業が					
	課題解決に役					
	立ったか)					
						•••••
	今後の方向性					
	(県民ニーズ、					
	緊急性、県関					
	与のあり方等					
	を踏まえ、今後					
	を踏まえ、今後 どのように取り					
	を踏まえ、今後					

 事務事業名
 地域文化振興推進事業費補助金
 事業開始年度: H2
 事業終了予定年度: 「作 組 織:文化振興課 「成 職・氏名 主事 競荘介」」

 ・計画等
 ・計画等
 者電話番号 076 - 225 - 1372 内線 3850

事業の背景・目的

現代音楽の作曲や県民がオーケストラへの親しみと理解を深める事業、ジュニアオーケストラ及びアンサンブル金沢合唱団の振興育成を図る事業などに補助することにより、本県の音楽文化の普及向上を図る。

事業の概要

芸術文化創作事業

コンポーザーインレジデンスとして著名作曲家にオーケストラ・アンサンブル金沢のレパートリーとなる現代音楽の作曲を委嘱し、新しい音楽の創造を図る。

② 特別文化事業の開催

他のオーケストラとの共演やオペラなどの公演、芸術文化創作事業により作曲された新曲を披露する演奏会を開催する。

・オペラ「こうもり」

日時 平成26年2月16日 会場 県立音楽堂

③ オーケストラ入門コンサートの開催

広く県民に、親しみやすいオーケストラを認識してもらうため、日頃よく耳にする身近な曲目を中心にコンサートを開催する。

会場:本多の森ホール

④ オーケストラ実践講習会

県内中学生・高校生やアマチュア音楽指導者を対象にオーケストラ・アンサンブル金沢楽団員等による 講習会を開催し、本県の音楽水準の向上と人材の育成を図る。

⑤ ジュニア・オーケストラ育成事業

小学校4年~中学校3年生までの生徒で構成するジュニア・オーケストラの育成を図り、青少年の音楽 資質の向上に寄与する。

- ⑥ オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団育成事業 アマチュアの合唱愛好家を募り、その合唱団の育成を図り、音楽文化の普及に寄与する。
- ⑦ 新人登竜門コンサートの開催

部門:管・打楽器、声楽 審査委員:オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督 他 演奏会:1回

- これまでの見直し状況
- ※ H17年度に地域文化振興推進事業費補助金と音楽文化普及事業費補助金を統合

		施策・課題の状況		
施	策	音楽文化の創造・発信・交流の促進	評価	
課	題	音楽文化の創造・発信		
	指標	音楽堂入場者数	単位	人
	目標値	現状値		
	平成25年度	平成21年度:平成22年度:平成23年度:平成	24年度	平成25年度
	252,000	235,219 272,940 238,543 2	65,158	

事業費

Ì	(単位	:千円)	平成	21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ĺ	事業費	予算		10,700	10,700	10,700	10,700	10,700
l		決算		10,700	10,700	10,700	10,700	
ı	一般	予算		10,700			10,700	10,700
ļ	財源	決算		10,700				
ı	事業費	費累計	2	272,300		,	304,400	315,100
					評信			
1	項	[]	評価		き	三記の評価 <i>の</i>	り理由	
	(費用) の観, め、この	有効性 対効果 点も含)事業が 決に役 たか)						
	(県民=	方向性 ニーズ、 :、県関						

与のあり方等 を踏まえ、今後 どのように取り 組むのか)

 事務事業名
 ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費
 事業開始年度
 H20
 事業終了予定年度

 根拠法令・計画等

 作 組 織 文化振興課

 成 職・氏名 主事 宮村理恵

 者 電話番号 076 - 225 - 1372 内線 3851

事業の背景・目的

フランス発祥のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」を、2008年から金沢で開催し、近年では、全国から10万人以上の来場者を集めるなど、石川の音楽文化の発信において着実な成果をあげてきている。

2年後に迫った北陸新幹線金沢開業を見据えながら、今後も、世界的な音楽祭としてのブランド力を活かし、この音楽祭を発展させていく必要があり、6回目となる2013年は、金沢市中心部や加賀・能登地域での公演を通し、更なる交流人口の拡大や地域の活性化に貢献する。

事業の概要

- 1 (1) 事 業 名:ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭2013
 - (2) 開催時期: 平成25年4月27日(十)~5月4日(十•祝) 8日間
 - (3) 会 場:金沢市内(金沢駅周辺、金沢市中心部等)、加賀・能登地区、富山県内、福井県内
 - (4) 主 催:ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭実行委員会 会長 前田 利祐 (第18代前田家当主)
 - (5) 内 容:オーケストラ公演、合唱、室内楽公演、吹奏楽 ほか 約170公演(有料:約60公演、無料:約110公演)
 - (6) 主な出演者: 【国内】

オーケストラ・アンサンブル金沢、北陸三県をはじめとする全国の演奏団体ほか 【国外】

フランス国立ロワール管弦楽団、パリ・コロンヌピアノ四重奏団(フランス)、パブロ・サインス・ビジェガス(スペイン)ほか

- (7) 入 場 料:500円~2,500円
- 2 負担金額 43,000千円

					TIV See		
-1-	- koko	/mt/d	\rightarrow 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	施策・課題の		1 AT /T	
		個性を	活かした	文化と学術の	地域つくり	評価	
副	題	台架 又	で化の創造	苣∙発信		- N//I.	
	指標	来場者	対		→→ 11. 11.	単位	人
	目標値				現状値	K.T.	15 × 2->
	平成25年度				成23年度 半	成24年度 平	成25年度
	100,000	9:	3,178	108,916	118,355	104,771	
				事業費			
	(単位:千円)					成24年度 平	
-	予算 予算	1	0,000	10,000	13,000	13,000	43,000
1	大昇	1	0,000	10,000	13,000	17,976	
	一般 予算	1	0,000	10,000	13,000	13,000	43,000
	財源 決算	1	0,000	10,000	13,000	17,976	
	事業費累計	1	5,000	25,000	38,000	55,976	98,976
				評価			
	項目	評価		左記	己の評価の理	里由	
Г							
I,	= 144 ~ 						
ĺ	事業の有効性						
	/#						
	(費用対効果						
	の観点も含						
	り、この事業が						
į	果題解決に役						
	立ったか)						
ļ		ļļ.					
	今後の方向性						
-	がり月刊生						
L							
	県民ニーズ、						
	緊急性、県関						
	与のあり方等						
	と踏まえ、今後						
	どのように取り						
	組むのか)						

 事務事業名
 いしかわミュージックアカデミー開催事業費
 事業開始年度
 H10
 事業終了予定年度
 「付 組 織 文化振興課 成 職・氏名 主事 宮村理恵 者 電話番号

 ・計画等
 ・計画等
 者 電話番号
 076 - 225 - 1372 内線 3851

事業の背景・目的

国内外の著名な講師による高いレベルのレッスンを行い、世界に通用する若手音楽家の育成と石川の音楽文化の振興を図る。

事業の概要

- 1 事業名 2013いしかわミュージックアカデミー
- 2 期間 平成25年8月16日(金)~25日(日) 10日間
- 3 会場 石川県立音楽堂、石川県青少年総合研修センターほか
- 4 主催 いしかわミュージックアカデミー実行委員会 会長 石川県知事 谷本正憲
- 5 内容
- (1) スクール部門
 - ① マスタークラス:プロを目指す若い音楽家を対象 ヴァイオリン50人、チェロ18人、ピアノ18人
 - ② 基礎クラス:地元で音楽を学ぶ人達を対象ヴァイオリン5人、ピアノ13人
 - ③ 受講生発表会(マスタークラス)
- (2) コンサート部門
 - ① ライジングスターコンサート: 過去のIMA音楽賞受賞者などの若手演奏家によるコンサート
 - ② IMA講師チェンバーコンサート: IMA講師とOEKメンバーの共演
 - ③ ミニコンサート : 受講生による演奏(病院、学校等)
- (4) フェローシップ制度

優秀な受講生にIMA音楽賞を授与し、次年度のアカデミーに奨学生として招聘

			施策•課題の	小作造		
施策	立水	2の合12	造·発信·交流		評価:	
課題	自米人[」ソノ启りだ	1 出版本書	がたに	11111111111111111111111111111111111111	
	音楽文化			± ± ± ₩	W//I.	
指標	いしかわ		<i>></i> ックアカデミ	一参加者数	単位	人
目標値				現状値		
平成25年度	平成21年	F度 平	成22年度 平	成23年度	平成24年度	平成25年度
4,000	3.	512	3,938	4,598	4,984	
			-,	_,	-,	
			事業費			
(単位:千円)	平成21年	E度 平		成23年度	平成24年度	平成25年周
マ佐		700	15,800	15,175	14,420	14,42
事業費	10,	300	15,800	15,175	14,420	14,44
(大)	14,	300				
一般 予算	16,	700	15,800	15,175	14,420	14,42
財源 決算	12,	300	15,800	15,175	14,420	
事業費累計	357,	600	15,800 373,400	15,175 388,575	402,995	417,41
			評価			
項目	評価			記の評価の	理由	
<u> </u>	E I II	•••••	/,	CONTRACTOR	·	•••••
the state of the s						
事業の有効性						
事業の有効性						
(費用対効果						
(費用対効果 の観点も含						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性						
(費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性 (県急性、県勢 を踏まえ、今後						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性 (県急性、別方今性 を踏まえ、に取り どのように取り						
(費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等 を踏まえ、今後						

事務事業名 伝統芸能技能向上支援事業 事業開始年度: H25 事業終了予定年度: 根拠法令 。計画等

作 組 織 :文化振興課成 職・氏名 佐成 美穂 者 電話番号: 076 - 225 - 1372 内線 3847

事業の背景・目的

H24年10月に県の無形文化財として「金沢素囃子」「一調一管」を指定し、その保持者を「いしかわの至宝」に認定したことを契機とし、藩政期から受け継がれてきた本県の個性でもある金沢芸妓による伝統芸能のさらなる質の向上と継承を図る。

事業の概要

- 芸の発表の場の創出
- (1) 事業名

金沢芸妓の舞(予定)

(2) 事業内容

県民や観光客に、金沢芸妓による芸(踊り、太鼓、お座敷遊びなど)を披露する。

- ①会場
 - 県立音楽堂和室
- ②実施期間等

平成25年11月1日~平成26年3月31日の実施期間内に年18回開催

- ③出演
 - ひがし、にし、主計町の各茶屋街の芸妓
- ④対象者

県民や県外からの観光客(各回定員30名程度)

		白	電話番号	076 ·	- 225) –	1372	内線	3847
			施策·課是	夏の状況	己				
	伝統文	で化の継承	、発展と文化芸	術に親し	む機会の	り充実	評価		
課題	伝統	文化の約	継承と発展					-	
指標		堂邦楽ホ		女・能楽	堂利用	者数	単位		人
目標値				現場	犬値				
平成25年度	平成	21年度	平成22年度			平成2	04年度	平成:	25年度
108,000	1/2	01,824	116,571	10	2,617	1 ///~-	08,960	1 /2/~.	30 /X
100,000		01,021	110,011	10	2,011	10	0,500	<u> </u>	
			事業						
(単位:千円)	平成	21年度	平成22年度	平成2	3年度	平成2	24年度	平成:	25年度
事業費 決算									3,000
事業費 決算			j						
一般予算			j	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		 !	••••••		3,000
財源 決算	ŧ		i 	<u> </u>				<u>.</u>	0,000
事業費累計	ļ		0	į	0		0		3,000
尹未复米司					U		U		3,000
			評化		<u> </u>	~ 			
	=T./T								
項目	評価		7	左記の	評価の	り埋田			
項目	評価		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	左記(グ	評価0	り埋田		•••••	••••••
	評価			左記の	<u>評価</u> 0	り埋田			••••••
項目 事業の有効性	評価			左記()	評価の	ク埋田			
事業の有効性	評価			左記の	<u>評価</u> の	ク埋田	<u> </u>		
事業の有効性 (費用対効果	評価		7	左記の	<u>計1曲</u> 0	ソ埋田	<u> </u>		
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含	評価			左記の	<u>評価</u> の	ク埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が	評価		2	左記の	<u>評価</u>	ク埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役	評価			左記(グ)	<u>部1曲</u> 0	ク埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が	評価			左記(グ)	<u>評1曲</u> 0	9 埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役	評価			左記(の)	<u>評価</u> 6	0埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役	評価			左記の	評1曲の	少埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役 立ったか)	評価			左記の	評判恤の	<u> </u>			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含 め、この事業が 課題解決に役	評価			左記の	<u>計</u> 41曲 6	<u>) 埋</u> 田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか)	評価			左記の	計1曲0	<u>) 埋</u> 田			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) 今後の方向性	評価			左記の	計1曲0	<u> </u>			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか) 今後の方向性	評価			左記の	計1曲0) 埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関	評価			左記の	計1曲0	少理			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も含め、この事業が 課題解決に役立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、 緊急性、県関 与のあり方等	評価			左記の	計1曲0) 埋田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も書が 課題解決に役立ったか) 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人では、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 一、	評価			左記の	計1曲0	<u>) 埋</u> 田			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も書が 課題解決にか) 今後の方向性 (県民ニー、県 緊急性、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、	評価			左記の	計1曲0	<u> </u>			
事業の有効性 (費用対効果 の観点も書が 課題解決に役立ったか) 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人ででは、 一人では、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 一、	評価			左記の	計1曲0	<u> </u>			